

# AOSSG 活動報告

せきぐち ともかず  
専門研究員 関口 智和

## 1 はじめに

平成22年9月に開催された第2回アジア・オセアニア会計基準設定主体グループ(AOSSG)の年次総会において、当委員会(西川委員長)がその後1年間におけるAOSSGの議長役に選任された。このため、当委員会及び副議長役(オーストラリア会計基準設定主体)を中心に、AOSSGに関して多くの取組みが行われている。本稿では、平成23年5月から7月にかけての取組みについて、概要をご紹介します。

## 2 議長諮問委員会における活動

当委員会は、副議長のオーストラリアと、毎月のテレビ会議や電子メールや電話等による情報・意見交換を通じて、議長・副議長間で緊密な連携を図っている。また、8つの国又は地域のメンバー(日本、オーストラリア、中国、韓国、香港、インド、マレーシア、シンガポールの会計基準設定主体)から構成される議長諮問委員会の議長兼事務局として、主要国の間での

意見調整を図りつつ、AOSSGの日常業務を進めている。

## 3 非公式会合の開催

AOSSGでは、毎年秋に年次総会を開催しているが、他の国際会議等の機会を利用して、可能な限り、対面会議を行うように努めている。今回は、5月にインドネシア(バリ島)で開催されたIFRSリージョナル・ポリシー・フォーラムの機会を利用して、AOSSGメンバー(12か国)による非公開会合を開催した。同会議には、国際会計基準審議会(IASB)からも、Tweedie議長、McGregor理事、山田理事にご出席いただき、IASBで審議が進められている主要プロジェクト(金融商品、リース、保険契約、収益認識)のほか、AOSSGが特に関心を示している項目(イスラム金融、農業)等について意見交換を行った。

また、AOSSGメンバーのみによるセッションでは、AOSSGのこれまでの活動と、今後の中長期的な活動について記載した戦略文書(Vision Paper)<sup>1</sup>を取りまとめるための議論が行われた。同文書は、6月8日に、プレスリリー

1 Vision Paper(仮訳) : [https://www.asb.or.jp/asb/asb\\_j/aossg/Vision\\_Paper.pdf](https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/aossg/Vision_Paper.pdf)

2 プレスリリース(仮訳) : [https://www.asb.or.jp/asb/asb\\_j/aossg/pressrelease\\_20110608\\_01.pdf](https://www.asb.or.jp/asb/asb_j/aossg/pressrelease_20110608_01.pdf)

ス<sup>2</sup>とともに公表されており、AOSSGメンバーの内外双方のさまざまな利害関係者から、次のような目的のため参照され得るものである。

- AOSSGのメンバーが、将来、グループの活動をどのように進めていくのかに関する議論の検討材料とするため。
- 新たにメンバーやオブザーバーになろうとする者が、グループに参加する前にAOSSGの運営を適切に理解し、どのような貢献が実現可能なかを検討するため。
- IASB、IFRS解釈指針委員会、IFRS財団評議員会が、グローバルな財務報告基準の開発における活動にAOSSGがどのように協力できるのかをより正確に理解するため。
- 他の地域的組織や他地域の各国基準設定主体が、互いに協力し得るかどうか、どのように協力すべきかをよりよく理解するため。
- AOSSGと同様のモデルを検討している法域が、どのように地域的な枠組みを創設するとともに効果的な運営を行っていきけるかについて理解するため。
- 各法域の利害関係者が、各国基準設定主体がAOSSGと関わっていく理由及び協力の方法をよりよく理解するため。

#### 4 コメント・レターの提出等

AOSSGでは、IASBによる検討事項と平仄

を合わせる形で、主要項目に関して、10の作業グループが設置されており、IASBからの公開草案等に対するコメント・レターの作成が行われている。また、作業グループが設置されていないものの、重要と判断される分野について、議長諮問委員会がコメント・レターを作成している。今回の期間における主な成果物は、以下のとおり。

- IASBへの排出権取引に関するコメント・レターの提出（平成23年7月）
- IFRS財団トラスティーによる協議文書「戦略レビュー」へのコメント・レターの提出（平成23年7月）

上記の他、AOSSGメンバーにおいて、無形資産（オーストラリア）、イスラム金融（マレーシア）に関する調査票の回付が行われており、各国における状況の把握と論点の検討が行われている。

#### 5 その他

各国がIFRSの開発・適用に力を注ぐ中で、南アメリカでも、AOSSGに類似する組織GLASS（Group of Latin America Accounting Standard Setters）が設置されている。今後、地域ごとに連携しつつ、グローバルな基準設定に対する影響力を強めていこうという動きが進んでいくことが予想される。